

本会議の代表質疑から

本定例会では、条例・その他の議案、予算、施政方針について各会派の代表質疑を行いました。代表質疑及び個人質疑は一括して各会派の持ち時間内で行い、大会派順に発言をします。持ち時間は各会派の人数等によって決まり、各会派の持ち時間及び発言順序は次のとおりです。

まちだ市民クラブ	70分
公明党	55分
自由民主党	50分
選ばれる町田をつくる会	50分
日本共産党	45分
無所属	40分



まちだ市民クラブ 東友美

問 児童相談所の誘致について、東京都との折衝状況と誘致場所の検討状況は。
市長 施設の規模や利用者の利便性などから候補地を選定するため、庁内にて検討を始めています。今後、候補地を都へ提案してまいります。

問 学校統廃合について、廃校となる学校跡地の防災機能維持が重要課題である。どのように防災機能を担保していくのか。
市長 防災機能は、学校跡地、統合新設校や周辺施設等も含め、地域にとって最適な配置を検討し、引き続きいけます。都における震災時の被害想定が改定され、避難者数を改めて推計しました。それに応じた各地域に必要な防

自由民主党 佐藤伸一郎

災機能を見直していきます。
問 中学校給食センターについて、事業者の想定と地元事業者との連携の考えは。
市長 事業者公募において、市内事業者の参画や地域雇用の地域の活動団体とのコラボレーションなど、地域経済活性化に資する姿勢と具体的取組を求め評価していく予定です。

問 パートナーシップ制度について、内容やスケジュール、市民生活への影響は。
市長 性的マイノリティーの方の困り事や生きづらさの軽減、差別や偏見の解消に加え、性の多様性に関する社会的な理解促進につなげることを期待しております。22年度のできるだけ早期導入を目指し、制度形態などの検討を進めてまいります。市独自の制度を構築できるように努めてまいりたいと考えております。

公明党 おんじょう由久

問 地方創生臨時交付金をどのように予算に反映し、物価上昇の影響を受ける生活者・事業者支援に活用するか。
市長 一部を先行して、補正予算を上程し、一部を留保しています。今後の状況を注視し、幅広い支援ができるよう、対策を講じてまいります。

問 子ども家庭支援センターと児童相談所がどのように連携し機能を果たしていくか。
市長 地域に根差した子ども家庭支援センターと、高度な専門性を持つ児童相談所の双方のメリットを生かした連携を構築してまいります。

選ばれる町田をつくる会 木目田英男

内事業者が参入する可能性をどのように考えているか。
市長 災害時も食の面から地域を支え、活躍できることを重視し、食料や資機材の備蓄、炊き出し機能など多様な取組を事業者提案として求め、具体化していきます。また、PFI手法採用で、複数企業から成る実施主体が構成されます。市内企業をはじめ多様な事業者の参加を促し、選定は、地域経済活性化に資する取組を評価する予定です。

問 市庁舎から外部機関へと手続が続いていく行政サービスにおいて、DX化による市民の利便性向上をどのように考えているか。
市長 国では、引越しワンストップサービスの推進を掲げています。国等の動向を注視するとともに、国の検討会などに参加してまいります。

日本共産党 細野龍子

問 まちだの新たな学校づくりにおいて、学校を3分の1減らすことによる、子どもへの負担をどのように認識しているのか。
市長 学校再編により通学区域が広がることや通学先が変わることによる変化などがございいますが、学級編制を行った後の人間関係への配慮や、公共交通機関等を活用した通学負担の軽減、通学路の安全対策などについて検討し、対応をまいります。

問 多摩都市モノレール町田方面延伸事業において、採算性を確保するために必要な町田市の取組を問う。
市長 採算性確保に必要な町田市の取組につきましては、モノレールの需要創出に資す

無所属 松岡みゆき

市長 木曾山崎団地地区は、交通拠点化を進めるとともに、商業、教育、医療などが集まり、多世代が融合する新しい町を目指しております。また、忠生北部丘陵地区は、民間活力を導入し、公園、農地や里山など緑に触れることのできる空間づくりを進め、訪れる人と新たな交流が生まれ、健康的にゆったり暮らせる魅力的な郊外を目指しております。

問 忠生スポーツ公園の整備について、様々な世代が目的に応じた使い方ができる空間整備とはどういったものか。
市長 大規模なイベントの開催や子どもマラソンの起終点等に加え、日常的な地域活動の実施など、また、いろいろな遊具やスポーツのコートを設置して、小さなお子さんや親御さん、中高生が楽しめる居場所を想定しております。

無所属 松岡みゆき

問 中学校給食センターの計画で、エリアごとに給食開始時期が異なるのはなぜか。不公平に感じる保護者もいる。
学校教育部長 それぞれの計画地の状況や施設規模などが異なることから、事業者公募から同時に事業はスタートしますが、工期などを合わせることが困難な状況です。給食センターの稼働時期は、今後とも、保護者が不公平感を感じることはないよう、できる限り地域間の差を少なくするよう努めてまいります。

問 町田駅周辺に分散しているバス乗降場を集約し、新たな交通ターミナルを整備するところがあるが、具体的な計画は。
市長 駅前の商業業務ビルを再編し、交通ターミナルに

無所属 松岡みゆき

必要な公共的な空間を確保し、整備を検討しております。民間事業者と調整していきます。
問 東日本で唯一のバイオエネルギーセンターを近隣に発信し周知すべきと考えますが。
市長 見学の受入れを行っているほか、ソウル市を招いて行われる都と市区町村の共同検討会にて紹介する予定です。近隣へはこれまででも都政新報などのメディアを通して、広く周知してまいりました。今後も、様々なメディアや環境省を通じて、近隣にとどまらず、全国に向けて積極的に情報を発信してまいります。

問 健康増進温浴施設の利用率をどのように考えるか。
市長 近隣市の公立温浴施設、市内や近隣市の民間温浴施設、また、市内の公衆浴場の利用料金などを参考に設定したものでございます。

問 まちづくりの検討の深度化を行うことをございます。
市長 町の一体的整備には、幅広い市民から見直しを求める声が多い。再検討してはどうか。
市長 町田市立博物館のガラスや陶磁器を引き継ぐ施設として、(仮称)国際工芸美術館を整備いたします。あわせて、芸術の杜という大きなテーマの中で、公園という市民に開かれた身近な空間が多様なアートに親しむ入り口となることを目指して、芹ヶ谷公園と国際版画美術館を含めた一体的な整備を行っております。引き続き、市民への説明の機会、市民からの要望を受けられる機会を広く設けるとともに、地域住民及び関係諸団体等との理解を深めることに努めながら、事業を進めてまいります。

市議会ホームページをご覧ください。
<https://www.gikai-machida.jp/>

町田市議会のホームページを開設しています。会議録の検索、議会の会期日程や議案の審議結果等の最新情報、議員の紹介、過去の市議会だよりなどを掲載しています。

また、本会議、常任委員会や特別委員会のライブ中継、録画配信もインターネットで行っています。スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

